



あおもり 町連だより

第198号

平成26年7月発行

青森市町会連合会

TEL 017(734)2584
FAX 017(734)2587

26年度定時総会

明るく住みよいまちづくりへ

全議案承認、加川会長を再選

青森市町会連合会は5月30日（金）午後1時からホテルクラウンパレス青森で平成26年度定時総会を開き、各町会長245人が出席、全議案を原案通り承認し、役員改選で会長に加川幸男氏（白旗野）を再選しました。

総会は八戸弘常任理事が司会を務め、木村眞一副会長が開会を宣言。物故者に黙祷をささげた後、加川幸男会長があいさつに立ち、「市民の自主的な活動と行政との協働による、触れ合い・助け合い・支え合いの運動を通し、明るく住みよいまちづくりを推進してまいりたい」と方針を述べました。

次いで、長年町会運営に貢献して退任した町会長24人と優良町会員168人を表彰（2面に掲載）、受賞者を代表して豊川一雄氏（諏訪沢）が謝辞を述べました。

引き続き、来賓の鹿内博市長、丸野達夫市議会議長、菊池智和青森警察署地域官（署長代理）から、各町会長のまちづくりや福祉向上に対する日ごろの尽力をたたえる祝辞があり、浪岡町内連合会の野呂一則会長が紹介されました。

この後、齋藤晴彦氏（自由ヶ丘）を議長に選出して議事に入りました。

議案の25年度事業報告について各部会長が報告、25年度収支決算等について須藤雄樹事務局長が報告した後、出席者から①ごみの出し方について、ごみ集積場にステッカーを張って協力を求めている町会があるが、これを広めていったらどうか②会長の報酬、交通費は③各部会の活動費が少ないのは④アパート住民の町会費徴収に苦慮している。アパートの大家へ文書等で協力要請してほしい⑤事業報告の総括の中に、市が地域コミュニティガイドラインを出し、町会連合会の存続が厳しい状況にあったが、その後市と話し合っ



245人が出席して開かれた定時総会

てきたとあるが、よい方向とは、どのようなことか⑥収入で繰越金が予算額と決算額が違っているが、表示する額の単位を変えて違いを解消したらどうかと質問、要望があり、担当部会長、事務局長が説明した後、原案通り承認しました。

（2面へ続く）

紙面紹介

- 2面 退任町会長と優良町会員を表彰
26年度事業計画
- 3面 除排雪協会が市町連へ安全ベスト寄贈
26年度事業計画（2面からの続き）
- 4面 大学と連携協定締結（横内町会）
見る広報紙発行（南片岡町会）

おめでとうございます

退任町会長と優良町会員を表彰

青森市町会連合会は26年度定時総会で、表彰規程に基づき、町会長を退任した24人と優良町会員168人を表彰しました。(敬称略、カッコ内は町会名、勤続年数)

□20年以上勤続し退任

柴田千代治(桐ノ沢、22) 木立忠義(岩渡、21)
青木忠秋(田茂木野、20) 故・阿保幸雄(末広町、42)

□5年以上20年未満勤続し退任

福田公夫(桑原、12) 豊川一雄(諏訪沢、12)
市川久也(矢作、5) 山上サチ子(みはらし、6)
佐々木八洲光(佃本町第一、8) 大宮賢二(小柳第三団地、14) 阿部久造(袈懸団地、6) 山本健三(蛸ヶ丘、5) 森将昭(大福町、6) 鳴海國雄



謝辞を述べる豊川氏

(西上古川第二、8) 木戸肇一(三内第二、11)
中條資則(シャトーム青森、8) 鳴中金吾(泉川、6)
故・鳴海則明(野沢、12) 白鳥正光(荒川二区、8)
故・原子喜代忠(大野山下、7)
故・三上伸一(妙見第三、7) 岩淵忠勝(西浦町、11)
楠美正太郎(中央古川、18) 鎌田憲雄(三上町、14)

□優良町会員

外川英造(石江江渡中) ほか167人

続いて、26年度事業計画、収支予算案等について審議、出席者から①各部会が計画している目玉の事業は②物品斡旋事業特別会計の繰越金について将来の使用計画は③市の活性化へ向けて市町連主導で進める事業を④事務局職員の人件費に比して活動費の割合が少ない。もっと活動が必要でないかーと質問、提案があり、原案通り承認しました。



事業計画を説明する部会長

この後、任期満了に伴う役員の変更が行われ、会長に加川氏を再選、次の方々を役員に選出しました。

▽副会長=木村眞一(古館) 倉内一長(岡部)
須藤喜代(幸畑阿部野) 市川和行(西田沢)
種市勲(中奥野)

▽常任理事=松本勝義(鴨泊) 柿崎昭夫(北富田)
八戸弘(東片岡) 工藤正雄(北後潟) 齊藤裕一郎(横山町)

▽監事=齋藤晴彦(自由ヶ丘) 土岐鎮雄(西平岡)

地域の和を広げる運動展開 26年度事業計画

基本方針

青森市町会連合会といたしましては、昨年度は各町会の連絡協調を図りながら、「町会活動の活性化支援」に重点を置いて、安心安全な住みよい環境づくりに努めて参りました。

しかしながら、最近の情勢として、地域住民間の繋がりの希薄さなどからくる地域課題が山積しているものと考えています。

このようななか、現在の地域社会において、青森市町会連合会が組織及び体制の強化を図り、地区連合町会・単位町会並びに各関係機関・団体との連携により更に機能を発揮すべきものと考えています。

これらの組織一丸となった事業の推進に当たっては、組織のあり方や推進方法・活動方法などについて、今までの経緯を基に早急に再考していく必要があると思われ、組織のあり方及び実施活動スケジュールの見直し等を行った上で、単位町会との連携のもと、現状に即応した確かな活動計画の実施に努める必要があります。

このことから市民の自主的な活動と行政との協働による「ふれあい・助けあい・支え合い」の地域の和を広げる運動を通して、明るく住み良い地

域づくりをめざした活動を推進したいと考えています。

重点目標

青森市町会連合会は、「重点目標」の骨子を町会連合会、地域協議会、地区連合町会、町会が組織一丸となった活動を原点とし、毎年度の進捗状況とその結果を踏まえ「住んでよかった安心・安全なまちづくり」により一層推進することとします。

- 1 みんなで考え、みんなに参加する。
- 2 地域への誇りと愛着心を持ち、生き生きと暮らせるまちづくりを進める。
- 3 お年寄りなどが安心して暮らせるまちづくりを進める。
- 4 安全で快適な暮らしができるまちづくりを進める。
- 5 自然と調和し自然を活用するまちづくりを進める。
- 6 健康づくりの盛んなまちづくりを進める。
- 7 青少年が健やかに育つまちづくりを進める。
- 8 文化の香りがするまちづくりを進める。

また、これらを具現化するために今後の部会活動計画は次の通りとする。

各部推進事業

総務部会

- ・ 総会、役員会、部会等各種会議の開催
- ・ 各部会との連絡調整、行政及び各機関との連絡調整、広報「町連だより」の発刊
- ・ 市政懇談会、新任町会長研修会、理事研修会、町会長研修会及び青函交流研修会等の開催
- ・ 安全で安心な、住んでよかった街づくりの促進
- ・ 地域課題への積極的対応と地域づくり事業の推進

地域振興部会

- ・ コミュニティ活動の活性化促進
- ・ 街路灯の設置及び修繕、道路舗装・側溝整備の要望活動
- ・ 雪処理事業の充実促進の要望活動
- ・ 災害に強い地域づくり事業の促進の要望活動

交通・防犯部会

- ・ 高齢者と子供を守る運動の推進
- ・ 交通安全関係者会議への参画及び協力

市町連へ安全ベスト

東青除排雪協会が寄贈

除排雪作業への立ち合い時や通学路除雪作業時の安全確保に活用してほしいと、東青除排雪協会（大坂憲一会長）が、前年度に引き続き、青森市町会連合会（市町連）に黄色い蛍光色のテープが縫い付けられた安全ベストを500着寄贈しました。

昨年12月17日（火）青森県建設会館で行われた贈呈式で、大坂会長から市町連の加川幸男会長へ目録が手渡されました＝写真。



市町連は373町会に、町会の状況等を加味し、各地区連合町会を通じて配布しました。

東青除排雪協会は、今年度も安全ベスト500着の寄贈を予定しているということです。

- ・ 交通安全協会事業と連携した活動の推進
- ・ 防犯運動団体等との連携した活動の推進

環境部会

- ・ ごみの減量化と資源再使用の推進
- ・ 清潔できれいなまちづくりの実施の促進
- ・ E C Oで省エネな地域温暖化対策呼びかけ運動の推進
- ・ 市等が行う環境啓発事業への参加、協力
- ・ 廃棄物不法投棄の通報協力

福祉部会

- ・ 高齢者を励ます活動
- ・ 地域ネットワーク活動推進事業の促進
- ・ 町会等が行う福祉事業の支援並びに地域づくり事業の推進
- ・ 災害時要援護者支援運動

女性部会

- ・ 検診受診勧奨、広報活動
- ・ 交通安全運動推進・啓発
- ・ 町会女性役員（リーダー）研修会の開催
- ・ 町内女性の集いの開催
- ・ 各地域での消費生活講習会、防災炊き出し調理訓練等の講習・研修会開催の啓発

大学と連携協定結ぶ

横内町会 行事に学生が参加

横内町会（太田智三町会長）は、町内にある青森中央学院大学、青森中央短期大学の学生、教職員と交流活動を行い、相互に協力して活力ある地域社会をつくるため3月、両大学と連携協定を結びました。

両大学の学生はこれまでも、町内の除雪や清掃活動に参加して来ましたが、今回、大学側から、災害時支援や防災活動の連携、地域行事の共同開催などを通して一層連携を強めたいと呼び掛けがあり、連携協定を結びました。

横内町会は5月11日（日）、町内の「堰上げ」を実施、地元住民約200人が参加して、町内の灌漑（かんがい）用水路や沿道の清掃、枯れた草の刈り取りなどを行いました。これに大学の学生



用水路の覆いに溜まった落葉など片付ける参加者

も多く参加、地元住民に交じり、灌漑用水の水源の堰から歩いて用水路の覆いに溜まった落葉、枝、倒木などを片付けました。清掃活動には町内にある八甲学園の利用者、職員も参加しました。

町会は今後、大学祭や町会の祭りでの交流、大学が主催する健康講座への参加、学生による地域課題の研究・調査への協力などで大学と連携を深めていくほか、町内の多くの福祉施設との連携も推進していくことにしています。

「見る」広報紙を発行

南片岡町会 回覧板に折り込む

回覧板、掲示板に加えて、ホームページも開設し、町会活動の活性化に取り組んでいる南片岡町会（中村金雄町会長）は、新たに広報「みなみかたおか」を発行、回覧板に折り込んで町内に回覧しました。



カラフルなパノラマ面

5月に発行した春号はA4判、カラー印刷、4ページ。コンセプトは「読む広報紙から見る広報紙」で、写真をふんだんに使っており、回覧板に折り込むことから、紙面に余白を取り、折り方も不定形に工夫しています。1面が新年度最初の事業として行った町内清掃、花壇整備の報告と町会長あいさつ、町会ホームページ案内を掲載、2面と3面はパノラマ面にして、昨年度のレクリエーション、敬老の日、3町会親善トランプ大会など

催事、事業を紹介しています。4面には「歴史散歩」として、資料や文献から集めた町会の歴史、昭和60年（1985年）に東奥日報に掲載された懐かしい南片岡町会の様子が載っています。

広報「みなみかたおか」は季刊を基本に、必要に応じて号外も発行、町内19班の回覧板に折り込み、希望者には配布することにしています。

哀 悼 録

- 大野山下町会長 原子 喜代忠 殿
(平成26年2月23日ご逝去)
 - 野沢町会長 鳴海 則明 殿
(平成26年3月5日ご逝去)
 - 清水町会長 高森 幸司 殿
(平成26年4月29日ご逝去)
 - 三内第三町会長 佐藤 正喜 殿
(平成26年5月5日ご逝去)
- 慎んで哀悼の意を表します。

● 編 集 後 記 ●

横内町会は町内にある大学と連携協定を結びましたが、5月に行われた町内の「堰上げ」に学生が参加しました。作業後、町会がふるまったドーナツを食べながら住民と談笑の様子を見て、世代を超えた交流はいいなあと感じました。(千)